< 凡例 > 取組対象外機関

令和5年度 第1回 鈴鹿川外·雲出川外·櫛田川外·宮川外 大規模氾濫減災協議会 (合同協議会) 参考資料02-1

	鈴鹿川外河川の減災に係る取組 (R3.12.14)	方針											各関係機関 <i>0</i>)取組内容								
***	个 人协知语口	目標	取組		国	気象庁		三重県										īĦŢ			鉄	道会社
事項	主な取組項目	時期	機関		三重河川国道事務所	津地方気象台	施設災害対策課	河川課防	5災砂防課	港湾・海岸課	四日市建設事務所	鈴鹿建設事務所	四日市地域防災総合事務所	鈴鹿地域防災 総合事務所	四日市市	鈴鹿市	亀山市	菰野町	朝日町	川越町	近畿日本鉄道 株式会社	四日市あすなろ 鉄道株式会社
	避難と被害の最小化に向けた地域住民の防			取り組み									,	,					,			
(1)	平時から住民等への周知・教育・訓練に関	する事項		D/ t z/O				県管理河川全ての洪水	T		R4年度に管内の県管理	R4年度に県管理河川全		I		I		1	T	T		T
·想	想定最大外力を対象とした洪水浸水想定区 は図を策定・公表し、市町に説明を実施	R4年度	県	R4までの 取組内容				浸水想定区域図を公表し、市町に説明を実施			河川すべての浸水想定	ての洪水浸水想定区域 図を公表予定	_	-								
	WILLY AND THE PIENS	71.		R5以降の 取組予定				-			_	-	_	-								
	想定最大規模の高潮における高潮浸水想定	R4年度	県	R4までの 取組内容				_	F	R4年度末に指定	-	-	_	-								
, A	域を指定	*		R5以降の 取組予定				-	F	R4年度末に指定	-	_	_	-						11 July 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10		
・水高	水害リスク情報の空白域の解消(洪水・内水・ 潮・ため池ハザードマップ策定・周知を含む)	引き続き 実施	県、市町	R4までの 取組内容				-			_	_	-	_	令和2年度にため池ハ ザードマップ作成(令和3 ~4年度に配布)	3 ハザードマップ等で周知	風水害、ため池ハザードマ ゴブの策定し、HPや広報誌等 で周知	ッ 防災マップ更新し、全戸等配布転入者へ、転入時に配布	高潮ハザードマップを作 成済町民に全戸配布済 (R4.3.30)	洪水ハザードマップを更新し、町民に全戸配布 (H30.2)転入者へ、転入 時に配布済/R4に洪水 ハザードマップの更新ぶ び高潮ハザードマップを 作成済	ž.	
				R5以降の 取組予定				_			_	_	_	_	統合版ハザードマップの 配布検討	新たなハザードマップの 作成	風水害ハザードマップの更 新/普及啓発を継続して実施	R4年度に防災マップを 更新	継続して周知活用	令和5年度に町民へ全 戸配布予定		A
· 漫	受水検討や浸水実績などの資料を市に提供 、遊難等を的確に行えるよう支援	随時	県	R4までの 取組内容				-				河川整備計画策定のための検討業務や過去の 助査において収集した 浸水実績などの資料を 市町に提供		-								
	\			R5以降の 取組予定 R4までの				-			めの検討業務や過去の 調査において収集した 浸水実績などの資料を 市町に提供	— 洪水浸水想定区域図作	_	-								
· 7t	水害危険性の確認(浸水状況等の確認等)	引き続き 実施	県	取組内容				-			-	成のための業務において浸水状況を確認	-	-								県、市のハザードマ 活用し確認
				R5以降の 取組予定							_	_	_	-								継続して実施
·楚	皇定最大外力を対象とした氾濫シミュレー	引き続き	IB.	R4までの 取組内容				洪水浸水想定区域図を 作成、公表した河川につ いて、氾濫シミュレーショ ン(浸水ナビ)に公表 (R4までに131河川)			-	-	-	-								
ショ	ョン(浸水ナビ)の公表	実施	Ж	R5以降の 取組予定				引き続き、洪水浸水想 定区域図を作成、公表 した河川について、氾濫 シミュレーション(浸水ナ ビ)に公表できるよう国 土地理院と調整する			_	_	-	-								
·想 域	想定最大外力を対象とした洪水浸水想定区 図を基にした洪水ハザードマップの策定・周 1	引き続き 実施	市町	R4までの 取組内容											平成30年度に鈴鹿川水 系、令和元年度に朝明 川水系、令和2年度に朝明 蔵川・三滝川水系、令和 3年度に天白川・鹿化 川・その他エリアで作成 (翌年度配布)	H30年度実施	風水害ハザードマップ策定 (令和2年度)・周知/ため池 ハザードマップ策定(令和2 年度)・周知	R2年度に作成済	洪水ハザードマップを更 新し、町民に全戸配布済 (H30.05.01)	配付済/避難情報等の 改正を受け、令和4年度 に洪水ハザードマップを 更新済	ŧ i	県、市のハザードで 活用し周知
				R5以降の 取組予定											配布検討	作成	風水害ハザードマップの更 新/普及啓発を継続して実施	施 R4年度に更新	継続して周知活用	令和5年度に町民へ全 戸配布予定		継続して実施
· ě	首長も参加したロールプレイング等の実践的	引き続き	本町	R4までの 取組内容											ロールプレイング形式の 図上訓練や本部員会議 運用訓練を実施	_	指定避難所を対象に住民3 体の総合防災訓練を実施/ 地区の防災訓練を支援	_	-	_		A
な	洪水に関する避難訓練の実施	実施	117.00	R5以降の 取組予定											継続して実施	必要に応じて検討	継続して実施/災害対策本 部の図上訓練実施	必要に応じて検討	-	-		
避	日常から水災害意識の向上を図り、迅速な 詳難を実現するため、まるごとまちごとハザー マップを整備	引き続き実施	市町	R4までの 取組内容 R5以降の 取組予定											現在のところ整備予定なし	現在のところ整備予定なし	現在のところ整備予定なし	現在のところ整備予定なし	-	— 検討		
続施	小学生も理解しやすいテキストを作成し、継 的な小中学校等における水災害教育の実 込仕張「木所別変態社会」再構築に役立つ 報や資料を作成	引き続き 実施	三重河川 国道、県、 市町		教材を作成し、各自治体の小学校へ防災教育の実施を促進/学校 ボータルサイトを更新し、内容を充実	要請があれば、出前講 座等を実施	継続して実施	-			_	_	継続して実施	継続して実施	市内小中学校に家族防災手帳を配布するとともに、防火防災教室により水災害教育を実施/出 前護座を通じて水害に関する情報を発信	出前講座や広報誌を通 じて水客に関する情報 を発信	小学生3年生を想定した「亀山市総合防災マップ(わたしの防災マップ)」を作成(今末 国内の防災マップ)を作成(今末 の防災での) 防災講座の実施	水防災教育を実施(継 ・	小学校1年生・4年生、中学校1年生に防災ノートを を記有・学習計画に防災が 組み込まれており、総合 学習の中で担任が防災教 育を実施	小学校1年生・4年生、中学校1年生に防災ノート を配布ハヴ4年生に防災ノート を配布バ項目に防災ノート 取り込まれて高い、担 が防災教育を実施/ハ 学4年生対象に町防災 担当職員による防災教 室を実施		
				R5以降の 取組予定	防災教育の促進を継続 して実施	継続して実施	継続して実施	_			_	_	_	-	継続して実施/家族防災 手帳を更新予定	継続して実施	継続して実施	継続して実施	継続して実施	継続して実施		
·美	実効性のある要配慮者施設の避難確保計画 作成と避難訓練を促進	引き続き実施	三重河川国道、県、		四日市市の連絡会に て、避難方法・行動に関 する説明を実施		継続して実施	-			_	_	継続して実施	-	計画が未作成、訓練が 未実施の施設に対し て、作成・実施を呼びか ける	要配慮者利用施設における一斉避難訓練の実施/避難確保計画作成率100%達成	要配慮者施設において避験 確保計画作成済/各施設に おいて訓練を継続して実施	避難計画の策定は対象 全施設で完了	要配慮者利用施設等の 管理者・所有者に対して 避難確保計画の作成と避 難訓練の実施を促す	要配慮者利用施設等の 避難確保計画は、全施 設作成し、提出済となっ た計画に基づく避難訓 練の実施と報告を促す		
	-		市町	R5以降の 取組予定	要配慮者の避難訓練の 実施を促進		継続して実施	_			_	_	_	-	継続して実施	継続して実施	継続して実施	訓練の実施を促す	継続して避難確保計画 等の実施を促す	継続して避難確保計画 計画に基づく避難訓練 の実施と報告を促す		
. 44	生足の防災音嫌と知識え宣め 少宝から良た			R4までの				_			_	必要に応じ、出前トーク により実施	継続して実施	継続して実施	四日市市防災大学等の 講座を開催し、啓発	地区に対して防災講話 を/実施	出前講座を実施	水防災教育を実施	町民、各種団体向けに防	地区への防災講演会を実施/高齢者を対象とし		
守実	住民の防災意識と知識を高め、水害から身を る力を育むために、市民向けの防災講座を 施	引き続き 実施	県、市町	取組内容 R5以降の				_			_	一 一	_	_	継続して実施	継続して実施	継続して実施	継続して実施	継続して実施	た防災講座の実施 継続して実施		
·Si	SNS・広報紙等を活用した継続的な情報発信	引き続き 実施	三重河川 国道、鉄 市町、鉄 会社	取組予定 R4までの 取組内容	HPや公式twitterにて情報の発信	気象庁Twitterによる防 災気象情報の発信		県土整備部ツイッターに よる河川に関する情報 発信、果政だよりみえに よる河川に関する情報 発信を実施			-	SNS等により実施	_	-	広報紙への記事掲載、 防災啓発チラシの配 布、地区防災組織連絡	7月5日号の広報すずか	・ 広報誌等による防災意識の 向上のために情報を発信		令和元年8月に防災アプリ朝日Sアラートをリリース	出水期前に広報誌や	-	訓練・研究会で周気
			太江	R5以降の 取組予定	継続して実施	継続して実施		継続して実施			_	_	_	_	継続して実施	継続して実施	継続して実施	継続して実施	継続して実施	継続して実施	要請があり、ポスター枠 に空きがあれば駅構内	継続して実施
. ш	共助の仕組みの強化	引き続き	三重河川 国道、県、 市町	取組予定 R4までの 取組内容	高齢者の避難行動につ いて講習会を実施			_			_	_	_	_	四日市市防災大学等の	令和3年度に災害時要	地区防災計画の策定支援		防災訓練・講演会等を開 催		掲示板に掲出予定	
11.75	The state of the s	実施	学売、不、	R5以降の			I						1				地区防災計画の策定支援と		1	1		_

< 凡例 > 取組対象外機関

令和5年度 第1回鈴鹿川外·雲出川外·櫛田川外·宮川外 大規模氾濫減災協議会(合同協議会) 参考資料02-1

鈴鹿川外河川の減災に係る取組 (R3.12.14)	且方針									各関係機関の	の取組内容								
*項 主な取組項目	目標 取組		国	気象庁	三重県														道会社
	時期機関		三重河川国道事務所	津地方気象台	施設災害対策課	河川課	防災砂防課	港湾・海岸課 四日市建設事務所	鈴鹿建設事務所	総合事務所	総合事務所	四日市市	鈴鹿市	亀山市	菰野町	朝日町	川越町福祉担当課と避難行動	近畿日本鉄道株式会社	四日市あすなろ 鉄道株式会社
・高齢者福祉部局と連携した避難行動への理解促進、マイタイムラインなどの個人防災計画 の作成	· ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	R4までの 取組内容	四日市市の連絡会に て、避難方法・行動に関 する説明を実施			_		_	_	継続して実施	継続して実施	避難行動要支援者名簿 の作成・理解促進	_	避難行動要支援者名簿の 新を継続「わたしの防災 マップ」によるマイタイムラインの作成・啓発	更 避難行動要支援者名類 の作成、更新個別避難 計画の作成に向けた福 祉部局との検討	遊難行動要支援者宅に 訪問し、個別避難計画作 成を実施	更支援者に対する個別		マニュアル策定済み
		R5以降の 取組予定	要配慮者の避難訓練の 実施を促進			-		_	_	-	_	継続して実施	-	個別避難計画の作成/継続 して実施	継続して実施	継続して実施	各地区の避難行動要支 援者に対する個別避難 計画の作成を進める		_
・企業等と連携した避難体制等の確保	引き続き 実施 三重河川 国道、県、	R4までの 取組内容				-		_	-	-	_	四日市市石油コンビ ナート・沿岸地域防災連 携会議の実施	_	災害時応援協定による災害 時活動基盤の拡充	_	災害協定を締結し、一時 避難場所の確保に努めた			規程、マニュアル策み
	末間 市町	取組予定	必要に応じて、流域タイ ムラインの拡充			_		_	_	_	_	継続して実施	必要に応じて検討	協定の充実等	_	継続して実施	_		_
とげ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動(1)情報伝達、避難計画等に関する事項	のための取り組み																		
・遊離指示の発令等に着目したタイムラインの 見直し	三重河川 必要に応 国道、県、 じて実施 市町、津地 方気象台	取組內容		カ	、 状況に応じて更新を実 施	-		朝明川ほか圏域内の5 つの水位周知河川を実 家に、平成2年6月日 からホットラインの河川 対象に、市町等と開始、大位周知道時 し、水客が応夕イムラインを平成31年の出水製 前に作成済み	・ 水害タイムライン作成済 み	_	継続して実施	令和元年度に作成済み /必要に応じ見直しを検 討	令和元年度(二作成済	避難指示の発令につながる 情報の共有、ホットラインの 運用を実施(継続して実施) タイムライン(風水害)作成 済み	5 / R2年度にタイムラインヤ 成済	F 県タイムラインを参考に思 タイムラインを作成済	水害対応タイムラインを 作成済(H30.9.20)		マニュアル策定済の
		R5以降の 取組予定	流域タイムラインの活用 及び、見直し	継続して実施	状況に応じて更新を実 施	_		_	-	_	_	必要に応じ見直しを検 討	必要に応じ見直しを検 討	必要に応じ見直しを実施	必要に応じ見直しを検 討	職員に共有する	必要に応じ見直しを実 施		_
・タイムラインを踏まえた水害対応チェックリス	引き続き 三重河川	R4までの 取組内容	流域タイムライン案の策 定									-	_	タイムライン(風水害)作成 済	タイムラインに準ずる	町タイムラインにチェック 欄有	検討		マニュアル策定済み
トの作成	実施国道、市町		流域タイムラインの活用 及び、見直し									検討	検討	継続して実施、必要に応じて 修正を予定	討	Table 1 Ch 7 C	検討		_
・想定最大規模の洪水浸水想定区域を踏まえた避難指示等の発令基準の見直し	込要に応 じて実施 市町	R4までの 取組内容												避難情報の発表の見直しに 伴い修正を実施					
た歴知が寺の光市卒年の元直し	して美施	R5以降の 取組予定										必要に応じ見直しを検 討	討	上位規則等の見直しによる 修正を予定	必要に応じ見直しを検討	適切な運用	必要に応じ見直しを実 施		
・避難指示・緊急安全確保の発令対象エリアと 発令順序の検討	と 引き続き 三重河川 国道、県、	取組内容	水害リスクマップの作 成・公表			_		_	-	_	_	_	鈴鹿市避難情報等の判 断・伝達マニュアルの改 訂	_	_	-	検討		
光节順序の検討	市町	R5以降の 取組予定	水害リスクマップの周知			_		_	-	-	-	必要に応じて検討	必要に応じて見直しを検討	未定	必要に応じて検討	-	検討		
・水害時に着目した指定避難場所の見直し	引き続き 実施 市町	R4までの 取組内容								継続して実施		伴い、浸水時の指定避	高潮の浸水想定区域の 公表に伴い、浸水区域の においては災水区域ににおいては災害の状況 に応じて近くの小学校の 校舎2階以上に避難を するよう鈴鹿市避難情 報等判断・伝達マニュア ルに記載	令和2年度までに実施済	洪水時には垂直避難を 実施するよう促進	_	-		
		R5以降の 取組予定								-		ハザードの見直しに合 わせて、浸水想定区域 内の避難場所の表記等 を検討	継続して実施	必要に応じ見直しを検討	_	-	検討		
・応急的な退避場所の確保や河川防災ステー	- 必要に応 三重河川	取組内容	鈴鹿川河川防災ステー ションを整備済み			_		_	-	_	_								
ションの整備	じて実施国道、県	R5以降の 取組予定	-			_		_	_	_	_			出水期までに相手連絡先を					
・情報伝達の相手先・手段・内容等を確認する ための洪水対応演習の実施	毎年度、 田水期ま 市町、津地 でに実施 方気象台	R4までの 取組内容 R5以降の	毎年、出水期までに実 施	毎年、出水期までに実 施	継続して実施	出水期までに実施		_	継続して実施	-	継続して実施	毎年、出水期前までに実施	-	面が がまた	ומ	_	-		
	刀丸冰口	取組予定	継続して実施	継続して実施	継続して実施	継続して実施		_	_	_	_	継続して実施	_	未定東御幸排水ひ管の点検を名	— -	_	_		
- 水門開閉訓練の実施	毎年度 実施 県、市町	R4までの 取組内容				-		_	-	-	-	-	-	月実施/国土交通省にて開催のひ管等操作説明会への 出席		_	-		
		R5以降の 取組予定				_		_	_	_	_	— 三重河川国道事務所と	_	継続して実施	_	_	-		
・三重河川国道事務所と各自治体で設置する 「情報連絡室」を活用した、雨量・水位や数時間先の水位予測などの早期の情報共有	引き続き 三重河川 国道、県、	R4までの 取組内容	継続して実施		継続して実施	_		_	_	_	継続して実施	の情報連絡体制につい ては、水防計画に記載 済	_	_	_	_	-		
間先の水位予測などの早期の情報共有	市町	R5以降の 取組予定	継続して実施		継続して実施	-		_	-	-	-	継続して実施	-	検討	-	-	-		
報道機関を通じた迅速かつ的確な情報発	引き続き 実施 三重河川 国道、県、	R4までの 取組内容	実施済み			_		_	_	_	_	災害情報共有システム (Lアラート)、CTYのL字 放送により対応済	災害情報共有システム/ (Lアラート)により対応 済	災害情報共有システム(L7 ラート)により対応済	災害情報共有システム (Lアラート)により対応 済	三重県防災情報システム を利用し配信	報光信を天肥(軽視しく		
信、Lアラート、L字放送を用いた情報発信	実施市町	R5以降の 取組予定	継続して実施			_		_	_	_	_	継続して実施	継続して実施	継続して実施	継続して実施	継続して実施	実施) 継続して実施		
 (2) 円滑かつ迅速な避難に資する施設整備に	関する事項	取組予正																	
・住民の避難行動を促し、迅速な水防活動を 支援するため、スマートフォンを活用したリア ルタイム情報の提供やブッシュ型情報の発信	引き続き 国道、県、 市町	R4までの 取組内容	整備済み			_		_	_	_	_	メールを配信/浸水リス	メールで配信すること及び登録制メール(メルモニ)により 情報を配信	緊急速報メール、かめやま 安心メール、ヤフ一防災アフリによる情報発信	平成30年度にインター ネット上で誰でも確認で きる気象計の新設し、 続して運用中/登録制 メールでのブッシュ型情 報配信の実施	B 防災アプリ朝日Sアラートの活用	登録制メールでのブッシュ型情報配信の実施 (H30.5.30)/防災カメラ の映像をホームページ にて画像形式での配信 を実施(H30.12.28)		
		R5以降の 取組予定	継続して実施			_		_	-	-	_	継続して実施	継続して実施	防災情報伝達システムの 備(R6、7)/継続して実施	継続して実施	継続して実施	継続して実施		
・水位、雨量情報のさらなる周知	引き続き 実施 県、市町	R4までの 取組内容				_		_	継続してチラシを配布、 必要に応じてSNS等に より周知を図る	-	-	_	令和3年7月5日号の広 報で水位情報等を提供 していることについて周 知	H30年度完了	-	_	_		
		R5以降の 取組予定				-		_	-	-	-	— 正式20 27年にお	継続して実施	継続して実施	-	-	-		
・円滑かつ迅速な避難に資するための防災行	必要に応	R4までの 取組内容										平成26~27年度にかけ、防災行政無線(固定系)を増設/令和3年度よりワンオペレーションシステムの運用を開始	平成22年度より「鈴鹿市 地域防災情報伝達シス テム」を順次整備してい る	防災行政無線の整備検討	町内河川の19か所に河川監視カメラを設置	防災行政無線デジタル化	同報系・移動系防災行 政無線デジタル化済		
政無線の補強などの施設(ハード)整備	でて実施市町	R5以降の 取組予定										必要に応じて検討	継続して実施	防災行政無線を含めた情報 伝達システムの整備(R6、 7)	£	_	-		

<凡例> 取組対象外機関

令和5年度 第1回 鈴鹿川外·雲出川外·櫛田川外·宮川外 大規模氾濫減災協議会 (合同協議会) 参考資料02-1

				1																参考賞: 	1702-1		
鈴鹿	三川外河川の減災に係る取組 (R3.12.14)	方針											各関係機関の)取組内容									
	主な取組項目	目標	取組		国	気象庁				Ξ	重県							市町			鉄	道会社	
5.項	工な収租供日	時期	機関		三重河川国道事務所	津地方気象台	施設災害対策課	河川課	防災砂防課	港湾・海岸課	四日市建設事務所	鈴鹿建設事務所	四日市地域防災 総合事務所	鈴鹿地域防災 総合事務所	四日市市	鈴鹿市	亀山市	菰野町	朝日町	川越町	近畿日本鉄道 株式会社	四日市あすた 鉄道株式会	
				R4までの 取組内容		線状降水帯の半日前程 度前からの呼びかけの 開始/キキクル(危険度 分布)のカラーコードの																	
•防災気象情	報の改善	必要に応 じて実施	津地方気 象台	R5以降の		変更 線状降水帯の30分程度 前予測について、顕著 な大雨に関する気象情																	
				取組予定		な人間に関する対象情報を用いて発表する予定																	
	皮害の軽減のための迅速化水防活			組み																			
1) 水防活動の	の効率化及び水防体制の強化に関	する事項								T	I	1	I	1		Ī	1	毎年、水防訓練に参加	年度毎に連絡体制を確			1	
・消防団等への	の連絡体制の再確認と伝達訓練	毎年度、出水期までに実施	市町	R4までの 取組内容											毎年、出水期前に水防 訓練を実施	毎年、出水期前に水防訓練を実施	毎年、出水期前に水防訓を実施	練 してもらっている(令和2 年、3年度はコロナによ り実施せず)	伝達訓練は行っていないが、平時から訓練、出動 の情報配信を実施	年度毎に連絡体制を確認/訓練毎に情報伝達 訓練を実施			
		41-3485		R5以降の 取組予定											継続して実施	継続して実施	継続して実施	継続して実施	継続して実施	継続して実施		<u> </u>	
・関係機関が	『連携した実働水防訓練	毎年度、出水期までに実施	三重河川国道、県、市町	R4までの 取組内容	洪水対応演習を実施		継続して実施	-			洪水時を想定した洪水 対応演習を実施	継続して実施	継続して実施	継続して実施	毎年、出水期前に河川 管理者が実施職員、水 防(消防)団、建設業協 会、地域住民と合同で 実施水防訓練に参加	対応演習をH30年度に	施/洪水時を想定した洪オ	毎年水防訓練を実施 (町、住民、消防団、災 害応急対策協定事業 者、町議員)(令和2年、 3年度はコレナにより実 施せず)	_	_			
		CICERE	1,121	R5以降の	R6総合防災演習へ向け 準備を実施		継続して実施	_			継続して実施	_	_	_	継続して実施	継続して実施	継続して実施	随時実施	_	_			
・迅速かつ的	確な水防活動のための河川管理	毎年度、	三重河川	取組予定 R4までの 取組内容	合同巡視の実施	河川管理者が実施共同 点検に参加	継続して実施	-			対象全河川の重要水防 区域を業務委託により 年1回点検/市町と重要 水防箇所や水防資機材	継続して実施	_	継続して実施	団の会議にて情報共有	消防団の会議にて情報 共有を実施	場防団の会議にで情報共 を実施	年、3年度はコロナによ	-	4月、9月の消防団訓練 時に実施			
	D意見交換、重要水防箇所など水 い箇所の共同点検	出水期までに実施		R5以降の 取組予定	継続して実施	継続して実施	継続して実施	_			の情報共有を図る継続して実施	_	_	_	継続して実施	継続して実施	継続して実施	り実施せず) 継続して実施	_	継続して実施			
・大規模洪水(の減少により、実際の水防活動 少するなか消防団員に対しての教 1団体の募集・指定を促進	리き続き	三番河川	R4までの 取組内容	重要水防箇所合同巡視 を実施										毎年、出水期前に水防 訓練を実施	毎年、定期的に実施	毎年、出水期前に水防訓 を実施	練 消防団員向け防災講演 /会を実施	_	消防団訓練の中に水防 工法の教育を実施			
経験者が減少 育、水防協力	少するなか消防団員に対しての教 」団体の募集・指定を促進	実施	国道、市町	T R5以降の 取組予定	継続して宝施										継続して実施	継続して実施	継続して実施	_	_	継続して実施		A	
・水位状況を計や量水標、	確認するための危機管理型水位 簡易型河川監視カメラ等の設置	引き続き 実施	三重河川国道、県、市町	R4までの 取組内容	危機管理型水位計の設 度(88基)、商易型河川 監視カメラの設置(39 基)			河川DX中期計画に基づ を14年度に県内の2河 川において後継管理 水位計、13河川におい で簡素型河川監視カラ を設置済 河川DX中期計画に基づ			/陈月到河山影相上/	(簡易型河川監視カメラ)継続して水位周知河川以外の河川について設置予定	-	-	水防活動を支援するための量水標の設置を実施	-	検川(新椿世地区)に監視 メラを設置/一部のため池 量水標を設置	i力 毎年の水防訓練で実施 に (令和2年度はコロナに より実施せず)	-	朝明橋橋脚に水位表示を実施		国・県等のHP	
				R5以降の 取組予定	必要に応じて増設を検討			きR5年度に県内の1河 川において危機管理型 水位計、12河川におい で簡易型河川監視カメラ を設置する			(簡易型河川監視力メラ)/継続して水位周知河川以外の河川について設置予定	_	_	_	-	_	椋川(新椿世地区)監視力 ラでの監視を継続して実施 必要に応じて検討	ルタ 色/ 必要に応じて検討	_	_		継続して実施	
(2) 市町村庁舎	舎や災害拠点病院等の自衛水防の	推進に関	する事項									1	1	1								-	
・災害拠点病 説明と水実対	i院・大規模工場等へ浸水リスクの 対策等の啓発活動	引き続き 実施	三重河川国道、県、	取組内容	水害リスクマップを整 備・周知			_			_	_	-	_	広報誌、市ホームペー ジを通じて啓発活動を 実施	-	ハザードマップによる周知	1 –	-	_			
DUSICALD A	136.43.00 (136.00)	~# 5	市町	R5以降の 取組予定	継続して実施			-			_	_	_	_	継続して実施	_	継続して実施	検討	_	_		A	
3) 一刻も早い	い生活再建や社会経済活動の回復	夏を可能と	するための																			4	
報の共有・排	速に排水するため、排水施設情 ・水手法等の検討を行い、大規模 した排水計画を作成	必要に応じて見直	三重河川 国道、県、 市町	取組内容 R5以降の			継続して実施	_			_	_	_	_	-	_	-	-	_	_			
小日を心足し	ハール ハロ I III C I F IX	_	-111	取組予定 R4までの	継続して実施		継続して実施	-			-	_	-	_	必要に応じて検討 河川管理者が実施訓練	-	必要に応じて検討	検討	_	_			
・排水計画に	基づく排水訓練の実施	引き続き実施	三重河川国道、県、	取組内容 R5以降の			継続して実施	_			_	-	-	-	に参加【河川排水課】	一 同・日の訓練に会知す	-	_	_	_			
			112-21	取組予定	IDEL CONTROL		継続して実施	-			-	-	-	-	継続して実施	国・県の訓練に参加する	国県の訓練に参加	検討	-	_			
・堤防決壊時 水計画の検討	の対応(情報伝達、復旧工法、排 対など)を演習することを目的に、 ミュレーションを実施	引き続き	三重河川	R4までの 取組内容	堤防決壊シミュレーショ ンを開催										年1回風水害を想定した 図上訓練を実施	-	_	_	_	-			
堤防決壊シミ	ミュレーションを実施	天肥	国道、市町	取組予定	継続して実施										継続して実施	_	未定	検討	_	-			
施設・庁舎の	の耐水化	必要に応	三重河川 国道、県、 市町	R4までの 取組内容				-			-	-	-	-	市庁舎の非常電源を上 部に移設させている	-	-	_	-	-			
		じて実施	市町	R5以降の 取組予定				-			_	-	_	-	-	_	_	_	_	-			
·水害BCP(事	5業継続計画)の作成	必要に応 じて実施	三重河川 国道、県、 市町	R4までの 取組内容 R5以降の			_	_			_	_	_	_		-	_	-	_	_		R4.8.21気象災 策定済み	
11 000 TID do Arr 1 0				取組予定	必要に応じて見直し			-			_	_	_	_	実施予定なし	_	_	検討	_	_		_	
	理者等が実施する防災施設の整備・被害消 場所の天端舗装などの危機管理型ハード対			R4までの 取組内容				R4年度に県内で危機管 理型ハード対策を11河 川で実施			部分の張りコンクリート 等を実施(朝明川、鹿化 川について実施)	ハード対策として、堤防 表法余裕高部分などの	_	_									
策の実施		実施	県	R5以降の 取組予定				R5年度に県内で危機管 理型ハード対策を10河 川で実施			危機管理型ハード対策 として、堤防表法余裕高 部分の張りコンクリート 等を実施(朝明川、鹿化 川について、継続して進 める)	_	_	_									

< 凡例 > 取組対象外機関

令和5年度 第1回 鈴鹿川外・雲出川外・櫛田川外・宮川外 大規模氾濫減災協議会(合同協議会) 参考資料02-1

				1																		
	鈴鹿川外河川の減災に係る取組 (R3.12.14)	l方針											各関係機関の)取組内容								
項目 事項	主な取組項目	目標	取組		国	気象庁		三重県 市町								町				会社		
90 T9	工体纵面外口	時期	機関		三重河川国道事務所	津地方気象台	施設災害対策課	河川課	防災砂防課	港湾・海岸課	四日市建設事務所	鈴鹿建設事務所	四日市地域防災 総合事務所	鈴鹿地域防災 総合事務所	四日市市	鈴鹿市	亀山市	菰野町	朝日町	川越町	近畿日本鉄道 株式会社	四日市あすなろう 鉄道株式会社
	・優先的に対策が必要な堤防整備や河道振削 などの治水安全を向上させるためのハード対 策	引き続き 実施	三重河川国道、県	取組内容	堤防整備・河道掘削等 ハード整備を実施			河川整備計画規模の洪 水に対する計画的な治 水対策を実施、堆積土 砂の撤去箇所につい 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、			河川整備計画規模の洪水に対する計画的な治 水に対する計画的な治 水対策を実施(朝明川、 三海川について、引続さ 境筋業上げ等を進め 境構土砂の撤去箇所 について、県と市町等で 優先度を協議しながら 選定	•	-	_								
				R5以降の 取組予定	継続して実施			継続して実施			継続して実施	_	_	_								
	・本川と支川の合流部等の対策	引き続き	三重河川国道、県	R4までの 取組内容	河道掘削等実施			-			-	-	_	_								
	ヤ川にス川の日川即寺の 内来	実施	国道、県	R5以降の 取組予定	計画に基つき事施			-			-	-	-	-								
	・多数の家屋や重要施設等の保全対策(樹木 伐採、河道掘削等の実施)	引き続き	三重河川国道、県、	R4までの 取組内容	河道掘削等実施			樹木伐採箇所および堆 積土砂の撤去箇所につ いて、県と市町で優先度 を協議し実施			_	継続して実施	-	_	河道掘削、河道拡幅、 浚渫工、内水対策、雨 水貯留管整備/下水道 施設の耐水化計画策定	_	準用河川竜川の浚渫を実施	_	_	_		
	(大採、河追掘削寺の美施)	XIII.	市町	R5以降の 取組予定	計画に基づき実施			継続して実施			_	_	_	_	河道掘削、河道拡幅、 浚渫工、内水対策を継 続して実施	_	必要に応じて実施	検討	_	_		
	・立地適正化計画に基づく防災指針の検討、	引き続き	+ m-	R4までの 取組内容											立地適正化計画の作成		防災指針作成に向けた調査 検討	_	_	_		
	立地適正化計画の策定検討	実施	L(1 m)	R5以降の 取組予定											立地適正化計画(見直 し)に基づく防災指針の 作成	必要に応じて実施	早期の防災指針策定及び立 地適正化計画見直しの実施	検討	-	-		
5) 土砂	** - 災害に対する警戒避難体制を充実・強化する - **	ための取締	組																			
	・想定される土砂災害リスクの周知	引き続き 実施	県、市町、 津地方気 象台	R4までの 取組内容		気象庁HPにて提供して いる土砂キキクルにお いて、土砂災害警戒区 城等も重ね合わせて表 示		-			(H29年度指定)H30.19 指定 朝日町市日外80.23 指定 即日市市日永地 区、川島地区/H30.316 指定 董野町朝上地区、 竹永地区/H304度相 下 H30.11.304度 租 町 南小山地区、/R1年度 所小山地区/R1年四日 指定)R2.3.27指定 四日市 市市三重、第、种前、实验 继	二連目以降調査および区域設定の実施	-	_	土砂災害(特別)警戒区 域に指定された地域の 土砂災害ハザードマップ を作成	_	令和2年度に風水害ハザー ドマップを作成済/風水害ハ ザードマップの啓発・普及活 動	_	土砂災害のハザードマップを作成し、町民に全戸配布済 (H30.05.01)	-		計画等により周知
				R5以降の 取組予定		継続して実施		-			二巡目調査結果の公表 及び区域の指定を進め る	-	-	_	区域指定後に順次作成 する	-	防災マップの啓発・普及活動 /地区防災計画の策定支援	_	継続して周知活用	-		継続して実施
	・土砂災害に対する警戒避難体制の整備	継続して実施	県、市町、 津地方気 象台	R4までの 取組内容		三重県と共同し土砂災 害警戒情報の発表を実施/自治体防災担当へ のホットラインの実施 (カ象庁HPより、土砂キ キクル(土砂の危険度 分布)の提供		-			-	_	-	継続して実施	土砂災害(特別)警戒区域に指定された地域に 防災行政無線(固定系) を増設(平成29年度)	-	避難情報情報の発令基準の適時運用と伝達・周知、避難 場所の確保を実施	-	避難指示等の発令基準 の適時運用と伝達・周知、 避難場所の確保を実施	-		マニュアル策定済み
				R5以降の 取組予定		継続して実施		_			_	-	_	-	必要に応じて検討	_	継続して実施	_	継続して実施	_		-
	・早めの避難につなげる啓発活動	引き続き 実施	県、市町、 津地方気 象台	R4までの 取組内容		気象台から発表される 様々な防災気象情報の 利活用について、出前 講座等を実施		_			_	継続してチラシを配布、 必要に応じてSNS等に より周知を図る	継続して実施		広報誌、市ホームページを通じて啓発活動を 実施	避難確保計画策定施設 で訓練実施(4施設)	水防訓練の実施/避難計画 の策定及び訓練の実施を呼 びかけるび地区防災計画の 策定支援	避難確保計画策定施設	年1回以上の防災訓練・ 防災教育・広報活動を実 放施、要配慮者を 管理者・所有者に対して 避難確保計画の作成と避 難訓練の実施を促す	_		
				R5以降の 取組予定		継続して実施		-			-	-	-	-	継続して実施	継続して実施	継続して実施/地区防災計 画の策定支援	継続して実施	継続して実施	-		